

第 127 回 地区内中小企業 景 気 動 向 調 査 結 果

(2020 年 7 月～ 9 月実施)

(2020 年 10 月～ 12 月予想)

***** 目 次 *****

地区内データベース		1
全国 ・ 全道の概況		4
調 査 の 概 要		5
全 業 種 総 合		6
製 造 業		9
建 設 業		11
卸 売 業		13
小 売 業		15
サ ー ビ ス 業		17
特 別 調 査		19

地 区 内 デ ー タ ベ ース

1. 人 口・世 帯 数 動 向（令和2年9月末）

町 村 名	人 口			世 帯 数		
	人 数	前年同月比	3 月 末 比	世 帯 数	前年同月比	3 月 末 比
平 取 町	4,826	-169	-150	2,493	-58	-30
日 高 町	11,402	-287	-281	6,038	-102	-82
新 冠 町	5,396	-116	-99	2,744	-34	1
新 ひ だ か 町	21,963	-332	-360	11,616	-56	3
浦 河 町	12,004	-193	-282	6,636	-48	-74
様 似 町	4,141	-109	-144	2,140	-35	-43
え り も 町	4,530	-119	-113	2,118	-10	8
広 尾 町	6,578	-110	-127	3,302	-27	-1
大 樹 町	5,447	-78	-96	2,724	-11	16
日高・十勝地区合計	76,287	-1,513	-1,652	39,811	-381	-202
札 幌 市	1,961,682	2,908	7,799	1,078,155	10,204	16,796
江 別 市	119,883	373	1,069	58,668	739	1,447
石 狩 市	58,301	26	41	28,103	285	469
北 広 島 市	58,150	-225	-312	27,931	195	361
恵 庭 市	70,092	83	466	34,093	365	762
千 歳 市	98,122	712	1,557	50,975	1,009	1,773
石狩地区合計	2,366,230	3,877	10,620	1,277,925	12,797	21,608
苫 小 牧 市	170,370	-918	-905	90,005	606	1,272
厚 真 町	4,442	-117	-117	2,098	-45	-44
む か わ 町	7,789	-162	-236	4,099	-35	-65
胆振地区合計	182,601	-1,197	-1,258	96,202	526	1,163
営業区域合計	2,625,118	1,167	7,710	1,413,938	12,942	22,569

＊日高町の人口に外国人登録者数は含まれていません

（資料出所：各市町村）

2. 企 業 倒 産 状 況（令和2年7～令和2年9月中）

単位：件・千万円	件 数	負 債 金 額	件数前年同期比	金額前年同期比
苫 小 牧 管 内	4	695	1	471
（内・新冠町～えりも町）	2	650	1	632
業 種 お よ び 件 数				
地 区 お よ び 件 数				
北 海 道	34	2,897	-13	-6,236
全 国	2,021	243,977	-161	-49,557

3. 労働需給状況 令和2年7月

	浦 河 (人・倍)	全 道 (人・倍)	前年同月比(%・ポイント)		前月比(%・ポイント)	
			浦 河	全 道	浦 河	全 道
月間有効求人数	837	74,845	-24.93	-21.36	2.57	0.35
月間有効求職者数	643	78,831	5.24	0.55	-3.74	-1.66
月間有効求人倍率	1.30	0.95	-0.52	-0.26	0.08	0.02

令和2年8月

月間有効求人数	829	74,962	-19.51	-20.14	-0.96	0.16
月間有効求職者数	613	79,784	-0.65	3.92	-4.67	1.21
月間有効求人倍率	1.35	0.94	-0.32	-0.28	0.05	-0.01

令和2年9月

月間有効求人数	812	77,068	-18.39	-19.14	-2.05	2.81
月間有効求職者数	631	81,439	4.82	7.62	2.94	2.07
月間有効求人倍率	1.29	0.95	-0.36	-0.31	-0.06	0.01

(資料出所：厚生労働省 北海道労働局)

4. 浦河町・新ひだか町静内 金融機関預金・貸出金残高 (令和2年9月末現在)

単位：百万円・%

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	貸 出 金	前年同月比	前 月 比
160,258	1.10	1.02	57,863	1.09	1.00

(資料出所：浦河・静内金融協会)

5. 浦河町・新ひだか町静内 手形交換高

令和2年7月

	当 月	前年同月比 (%)	前月比 (%)
交 換 枚 数 (枚)	201	-25.56	-28.98
交 換 金 額 (百万円)	302	-11.44	-27.40
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

令和2年8月

交 換 枚 数 (枚)	192	36.17	-4.48
交 換 金 額 (百万円)	414	15.97	37.09
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

令和2年9月

交 換 枚 数 (枚)	197	-29.14	2.60
交 換 金 額 (百万円)	390	4.56	-5.80
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

(資料出所：浦河・静内金融協会)

6. 建 築 確 認 申 請

単位：件数

		件 数	前 年 同 期 比	前 四 半 期 比
当 金 庫 管 内 (新ひだか町～広尾町)	2/7～2/9月迄の累計	5	0	-1
	2/4～2/9月迄の累計	54	-8	

(資料出所：各町村)

7. 気 象 情 報

令和2年7月中

	本 年			平年偏差・平年比		
	気温 (℃)	降水量 (mm)	日 照 時 間	気温 (℃)	降水量 (%)	日照時間 (%)
浦 河	17.9	124.0	99.8	0.7	85.2	91.1
広 尾	16.5	59.5	84.9	0.6	34.5	81.2

令和2年8月中

浦 河	20.8	128.0	149.1	0.9	80.1	108.4
広 尾	20.1	174.5	130.3	1.7	74.8	109.9

令和2年9月中

浦 河	18.7	162.0	158.5	1.4	115.0	99.4
広 尾	17.1	188.0	84.4	1.1	71.1	62.3

(資料出所：国土交通省 気象庁)

全 国 ・ 全 道 の 概 況

信金中央金庫がまとめた全国信用金庫の窓口から見た中小企業の景況によると、2020年7～9月期（今期）の業況判断D. I. は△48.3と、前期の過去最悪水準から8.6ポイントの改善となった。収益面では、前年同期比売上額判断D. I. が△56.1と前期比3.8ポイント改善、同収益判断D. I. は△54.6と同4.3ポイント改善した。販売価格判断D. I. は前期の大幅低下から一転し△6.6となった。人手過不足判断D. I. は△7.2と再び人手不足感が強まった。設備投資実施企業割合は1.9ポイント上昇して19.0%となった。業種別の業況判断D. I. は全6業種で、地域別でも全11地域で、それぞれ改善した。2020年10～12月期（来期）の予想業況判断D. I. は△47.1、今期実績比1.2ポイントの小幅改善を見込んでいる。業種別では全6業種中5業種で、地域別では全11地域中7地域で、それぞれ改善する見通しにある。

日本銀行札幌支店が10月1日発表した金融経済概況によると、北海道地域の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあるが、経済活動が徐々に再開するもとの、持ち直しつつある。すなわち、個人消費は、引き続き低い水準となっているが、徐々に持ち直している。観光は、引き続き厳しい状況にあるが、徐々に持ち直している。輸出は下げ止まっている。住宅投資は弱めの動きとなっている。設備投資は減少している。公共投資は高水準で推移している。生産は下げ止まりつつある。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。

需要項目別動向

- 公共投資・・・高水準で推移している。公共工事の発注の動きを示す公共工事請負金額は、高水準で推移している。
- 輸出・・・下げ止まっている。主要品目別に見ると、食料品などで下げ止まっている。この間、輸送用機器では、持ち直している。
- 設備投資・・・減少している。9月短観（北海道地区）における2020年度の設備投資は、前年を下回る計画となっている。
- 個人消費・・・引き続き低い水準となっているが、徐々に持ち直している。サービス消費、百貨店販売などでは、引き続き低い水準となっているが、経済活動の再開に伴い、徐々に持ち直している。日用品や食料品では増勢が鈍化している。
- 観光・・・引き続き厳しい状況にあるが、徐々に持ち直している。
- 住宅投資・・・弱めの動きとなっている。新設住宅着工戸数をみると、持家は弱めの動きとなっている。貸家は低水準で推移している。分譲は高めの水準で推移している。
- 生産（鉱工業生産）・・・下げ止まりつつある。主要業種別に見ると、紙・パルプなどで減少している。電気機械では、下げ止まりつつある。輸送機器では、持ち直している。食料品では、一部に弱めの動きがみられるものの、横ばい圏内の動きとなっている。
- 雇用・所得・・・労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。
- 物価・・・消費者物価（除く生鮮食品）は、エネルギー価格を中心に前年を下回っている。
- 企業倒産・・・低水準で推移している。